

2023年8月10日

兵庫県阪神県民局 宝塚土木事務所
道路第2課 ご担当者様

まちづくり計画に基づく危険箇所要望書

安倉地区まちづくり協議会
会長 岡本 康夫
安全防犯部 林 昇

平素は安全安心な住み良いまちづくりにご尽力頂き厚く御礼申し上げます。

安倉地区まちづくり計画の取り組みとして継続して要望をさせて頂いている県道に関する次の諸点について要望致します。

※令和5年8月10日、面談して要望させて頂きました件と同じです。

①の地点 安倉中3丁目カーブミラー設置要望（取り組み番号8）

安倉中3丁目の住宅街から県道142号線に合流する信号の無い三叉路ですが、合流しようとする車両から県道を通行する歩行者や自転車が停止線から目視できません。

目視するためには、県道の歩道部分のかなりの幅を塞ぐ辺りまで前進する必要があります。

また、県道を通行する歩行者・自転車も合流車両を確認しづらく、幹線道路の「歩道」を通行している安心感から特に減速や立ち止まる事も無く、かなり危険な状態となっています。

車両から交差する歩行者・自転車が確認出来るようにカーブミラーの設置を要望しておりましたが設置出来ない（市からは歩行者を確認する為のミラーは設置できないとの回答）ため、県道（歩道側）にて注意喚起などの安全対策が出来ないか検討を御願ひします。



県道142号線、南側から三叉路を撮影（左）と県道側から住宅街から合流する道路（右）を撮影。



住宅街から県道 142 号線に合流する三叉路を撮影（左）と県道北側から三叉路（右）を撮影。



停止線から県道 142 号線北側見通し（左）と南側見通し（右）を撮影。北側は特に目視できない。

②の地点 愛眼前一旦停止の標識改善、カーブミラー設置要望（取り組み番号9）

安倉中5丁目の住宅街から県道142号線に合流する信号の無い三叉路（メガネの愛眼のある三叉路）ですが、一旦停止の標識と路面の停止線がズレており、車両を運転するドライバーから判りにくくなっています。

県道に合流しようとする車両から県道を通行する歩行者や自転車（三叉路から南側）が停止線から目視できません。①と同様目視するためには、県道の歩道部分のかなりの幅を塞ぐ辺りまで前進する必要があります。

また、三叉路の南側から県道を通行する歩行者・自転車も合流車両を非常に確認しづらく、特に減速や立ち止まる事も無く、かなり危険な状態となっています。

この道は、並行する国道176号線の「安倉中交差点」渋滞を回避する”抜け道”として利用する車両が多く、朝夕の通勤ラッシュ時に通行する車両もかなり多く危険な状態です。

合流する車両から交差する歩行者・自転車が確認出来るようにカーブミラーの設置を要望しておりましたが設置出来ない（市からは歩行者を確認する為のミラーは設置できないとの回答）ため、県道（歩道側）にて注意喚起などの安全対策が出来ないか検討を御願います。



県道142号線、北側から三叉路を撮影（左）と県道南側から三叉路（右）を撮影。停止線が若干見える程度。



停止線から県道142号線南側見通し（左）を撮影。

県道南側から三叉路（右）を撮影中、歩行者と車両が接触しそうになった所を偶然撮影。

③の地点 安倉南1丁目交差点南東、車止めポールの設置要望（取り組み番号10）

安倉南1丁目交差点南東側（クリーニング店側）の歩道及び、北東側（ガソリンスタンド側）に車止めやガードレールが無く、特に東側（クリーニング店側）は交差点からお店に車が自由に入出力できる状態となっており、歩道で信号待ちの歩行者や自転車が安全に待機できる場所がありません。

また、交差点での事故や運転を誤った車両が突っ込んできた場合も同様に車両を止める手立てが無く（同交差点西側はガードレールが設置されています。）小学生の登下校時に事故が発生した場合は大きな被害となります。

早急にガードレールの設置並びに車止め（樹脂のポール？）の設置をお願いします。



県道142号線、北側から交差点東側を撮影（左）と県道南側から交差点東側（右）を撮影。車止めが無い様子。



安倉南1丁目交差点南東側から交差点の様子を撮影（左）東側道路から交差点を撮影（右）。停止線横にも車止め無し。

④の地点 中山安倉線の歩道空間の改善要望（取り組み番号18）

国道176号線と県道142号線との交差点（安倉中交差点）から県道142号線の安倉北交差点にかけて街路樹はポツポツとありますがガードレールはありません。

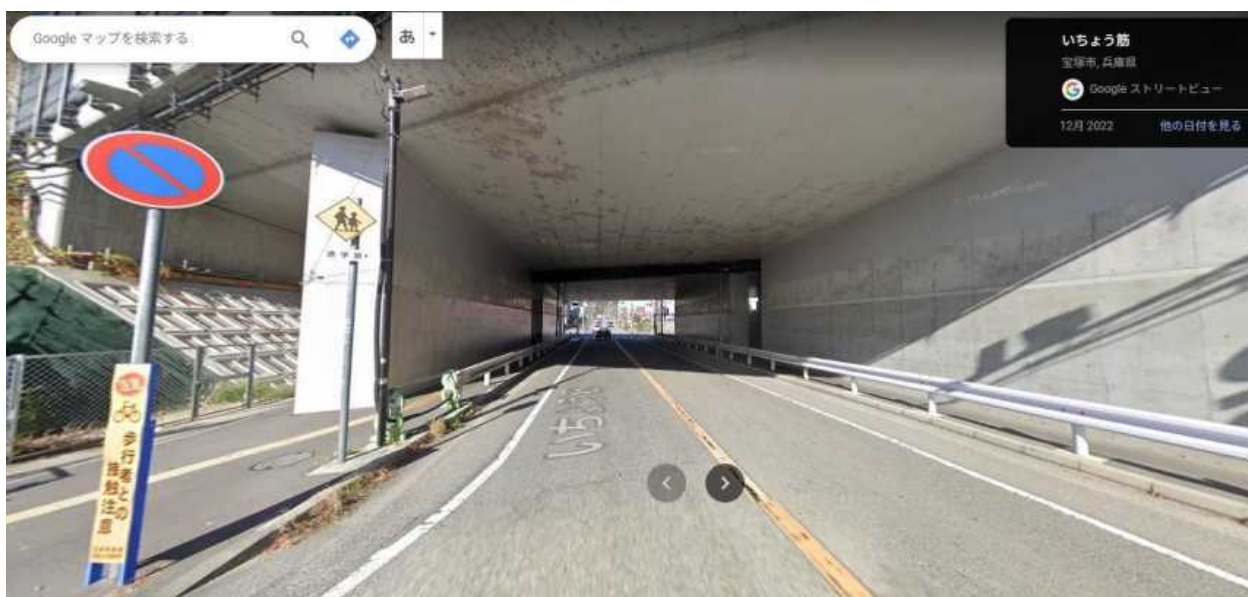
交通量も多く通学路となる道でもありますので、歩行者の安全を確保できるようにガードレールの設置を御願います。

また、同道路で中国自動車道の高架下となる歩道が、耐震補強工事に伴い歩道にある橋脚が大きく壁のようになってしまった為に見通しが悪く、歩行者のかわす場所も無くなり自転車とすれ違うことも困難となってしまっています。

早急に歩道幅を確保し安全な通行が出来る対策を御願い致します。



中国自動車道高架下（工事前）の様子



中国自動車道高架下（現在）の様子

⑤の地点 尼崎宝塚線の歩行者の安全確保に関する改善要望（取り組み番号19）

尼崎宝塚線（県道42号線）安倉交差点から金井町交差点にかけて歩道幅も狭く、起伏もありながらガードレールなどの安全策もありません。歩行者の安全確保に向けて歩道のバリアフリー化や歩道の拡幅、ガードレールの設置をお願いします。



安倉交差点南より尼崎方向を撮影（東側歩道）



安倉交差点南より尼崎方向を撮影（西側歩道）

⑥の地点 県道142号線の歩道縁石切り下げ改善要望（取り組み番号なし）

県道142号線に合流する市道の県道歩道にある緑地部分の縁石（写真の赤丸部分）が突出しており、通行する自転車のペダルなどに接触することがあり危険です。切り下げなどの対策をお願いします。



⑦の地点 県道142号線の降雨時水溜まり改善要望（取り組み番号なし）

雨が続く時やゲリラ豪雨の際に、排水溝が落葉や土で雨水が排水しきれず県道沿いの車道と歩道の上に大きな水溜まりが発生します。特に安倉小学校前交差点、安倉中4丁目交差点は小中学生の通学路にもかかわらず横断歩道に水溜まりができ通行が出来なくなります。

また、県道を通行する車両によっては歩道を越えるような大きな水はねを飛ばしてくる事もあり、信号待ちをする子どもがびしょ濡れになることもあります。



水溜まりが出来てから県に連絡をしていたのでは子どもたちは既に濡れている状況となり間に合いませんので、根本的に水溜まりの出来ない対策を御願い致します。

安倉小学校前交差点で実際に水溜まりが出来ているところを幼稚園児と保護者の方が水たまりを避けて横断されたところを撮影

今回の要望書は、以上7カ所となります。

要望書作成にあたり、面談の際には口頭でお話をしておりました、

- ・宝塚警察が管轄する「信号」「横断歩道」「道路規制」など
- ・宝塚市が管轄する「カーブミラー」「自転車レーンの設置」「市道にかかる箇所」
- ・バス運行業者が申請する「バス停の移動」

については、予め削除しております。

宜しく御願い致します。

まちづくり計画に基づく危険箇所要望書 添付地図



まちづくり計画に基づく危険箇所要望書 添付地図

